

# 春の叙勲

## たゆまぬ努力が大きな成果に

### 旭日重光章



きだ ながのり  
喜田 長則 さん  
(原町区橋本町)

昭和29年に医薬品配置販売業を開業して地域に家庭薬を届け、保健衛生の向上に貢献されました。  
また、薬物乱用防止指導員として子どもたちの健全育成にも力を注いでいる喜田さんは「家族や地域の皆さんのおかげで続けることができました。これからも健康の許す限り、社会に貢献していきたいです。」と受章の喜びと抱負を述べていました。

### 瑞宝単光章



いながき しゅうじ  
稲垣 修次 さん  
(小高区蛸沢)

昭和30年に旧小高町消防団に入り、第三分団長、副団長などを歴任し、防火・防災活動に尽力されました。  
稲垣さんは「家族や団員の支えがあって活動することができました。今後、消防団生活の振り返りながら感謝の気持ちも人のためになることを続けたいです。」と、消防団生活を振り返りながら感謝の気持ちを述べていました。

## Sさんへの手紙

「目に青葉 山ほととぎす 初がつお」

南相馬市長 渡辺 一成

春も盛りとなりました。お変わりありませんか。

薄緑の若葉と杉や松の新緑が織りなすこの時期の山並みを見るとき、だれもが生命の躍動を感じるのではないのでしょうか。自然の営みの力強さに励まされる思いがします。

鹿島区檜原の小田区長さんから「『アカヤシオ(ツツジ科)』が見ごろです」とお誘いがあり、4月18日に出掛けました。残念ながら花は終わっていましたので、以前から見たいと思っていた「弓折沢の滝」を案内していただくことになりました。

上真野川の浅瀬を渡って沢伝いに40分ほど登ると、確かに弓を折り曲げたような見事な滝がありました。一昨年、上栃窪の紺野区長さんに案内していただいた「梵天の滝」を思い出しました。

滝へ行く途中には炭窯の跡が数か所あり、昔の人たちが山で暮らしていた様子などを伺い勉強になりました。また、至る所にケヤキの大木が連なり、津島の赤松と並んでケヤキの産地として有名であったことが分かります。小田さん、本当にありがとうございました。

4月29日は小高区にある「懸の森」の山開きに参加し、500人の皆さんと一緒に登ってきました。田部井淳子さんが訪れたときから3年連続の参加です。140人のスタッフの皆さんがコースを手入れしているので、楽しく安全に登山することができました。下山後は抽選会をはじめ、おいしい抹茶の振る舞いなどのおもてなしがあり、採りたて農産物の即売も行われています。市民の皆さんはもちろん、県内外からも毎年参加者がいることがうなずけます。来年も参加しようという気持ちが出てきます。ありがとうございました。

この手紙が届くころには、田植も半ば終わっていることでしょう。

秋の豊作を祈ってペンをおきます。

お元気で、それでは又。(5月1日記)